

公衆無線LAN 74カ所に

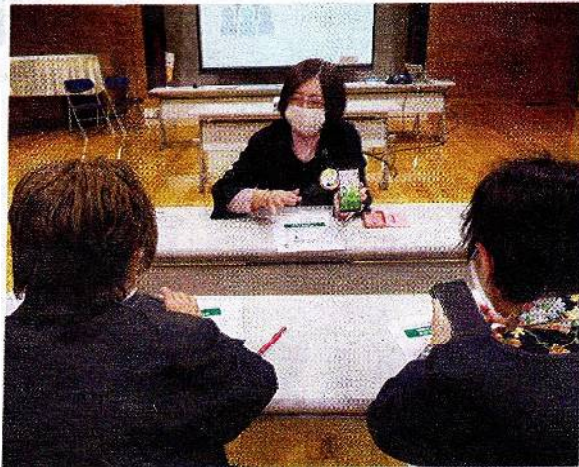
市が整備 災害想定 平時も活用

もろう狙いで、来年度も拡大開催していく。

整備費用は計約3000万円、うち約1000万円は総務省の防災関連の補助金を使った。市デジタル戦略課の小松芳祐課長は「市内のデジタル格差を、インフラ面から少しでも縮めていくことにつながれば」と話す。

塩尻市は10月末までに、災害時に避難所を開設する公民館など市内の防災や交流の拠点74カ所に、公衆無線LAN・WiFi（ワイファイ）を整備した。避難者の情報収集に役立ててもらい、平常時は公民館のオンライン講座や学習などで幅広く活用する。

(石尾 出)



各公民館で開かれている「スマホ活用入門講座」(大門公民館)

各公民館、コミュニティセンターなどに整備した。各建物内で、スマートフォンなどで登録手続きを済ませると利用できる。平常時は、施設開館中の午前6時～午後10時に使える。避難所開設時は24時間利用できるようにし、登録手続きを省略する「フリー」のWiFiとしてフル

活用する方針だ。

WiFi環境整備に合わせ、公民館5カ所で順次、デジタル技術に不慣れな人を対象にした「スマホ活用入門講座」を開いている。基礎的な操作方法を習得して平常時からWiFiに親しんで

2021.11.20)市民タイムス